

報道・情報・スポーツ向け 素材アップロードツール「クラポ」のご紹介

日本テレビ放送網株式会社

クラポとは？

取材先から日本テレビ本社の編集システムへ
素材ファイルを転送する、アップロードツール

- ・ PC、スマートデバイスからアクセス
- ・ クライアントレスですべての操作が完結 & 高速転送！
- ・ ユーザー数は報道・情報・スポーツ合計約1,700名



Microsoft Edge



Google Chrome



Apple Safari



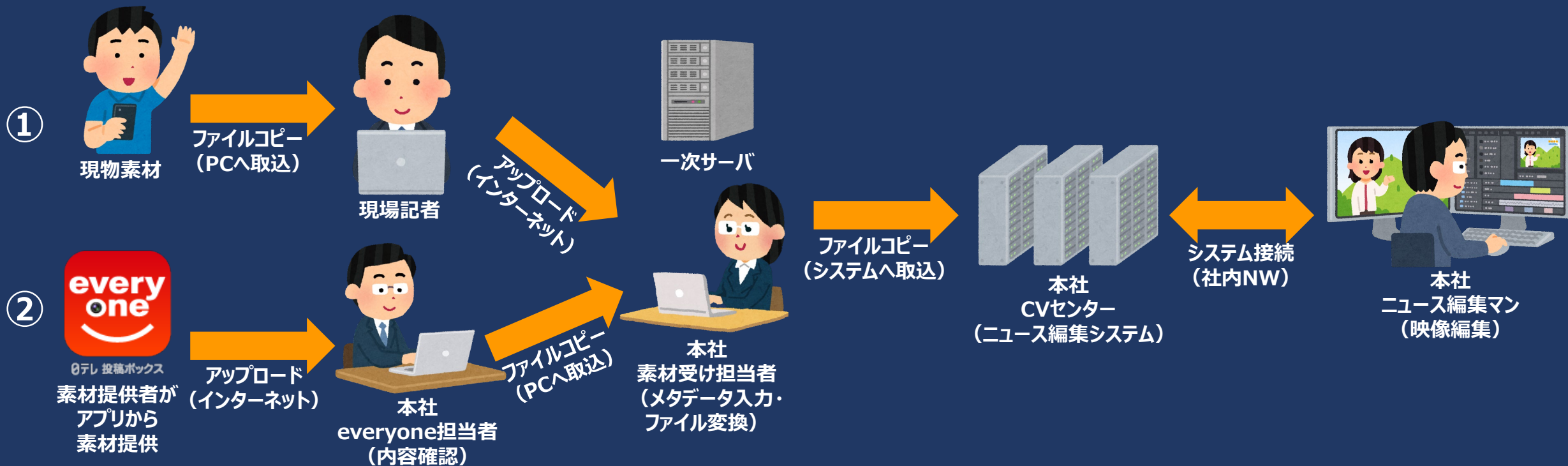
Mozilla Firefox



汎用的なウェブブラウザで利用可能！

ウェブブラウザ・アップロード画面

従来のワークフロー



課題：処理フロー毎に担当者が介在し、編集開始まで時間がかかる

クラポのワークフロー



 取材現場から編集開始まで一連のワークフローを自動処理で実現

スポーツ中継現場での業務効率化をサポート

従来の運用

- ・ EVS（スポーツ中継向け収録サーバ）で収録した中継カメラ素材を試合終了後にSDI回線で伝送

➡ 伝送が終わるまで現場が撤収できず、労働時間が長くなるケースが発生

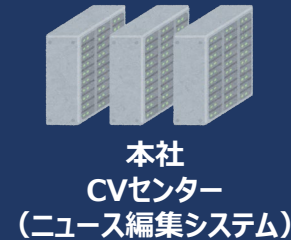
クラポを活用した運用



クラポ



自動転送
(専用線)



本社
ニュース編集マン
(映像編集)



ダウンロード
(インターネット)



👍 試合中に素材を本社へ送り始めることができ、現場の撤収時間を早める効果あり

EVSアップロードの仕組み

① 



② **XFile3**
IPDirector

監視対象フォルダ


MXF


MP4


クラブ監視アプリ

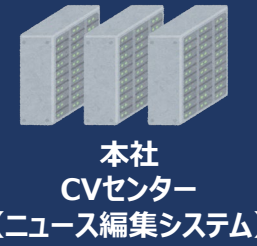
③ **自動アップロード**
(インターネット)

④  **AWSに構築したシステム本体**


MXF


MP4


自動転送
(専用線)



⑤ 
本社
ニュース編集マン
(映像編集)


ダウンロード
(インターネット)

GIANTS TV
⑥ 配信番組へ

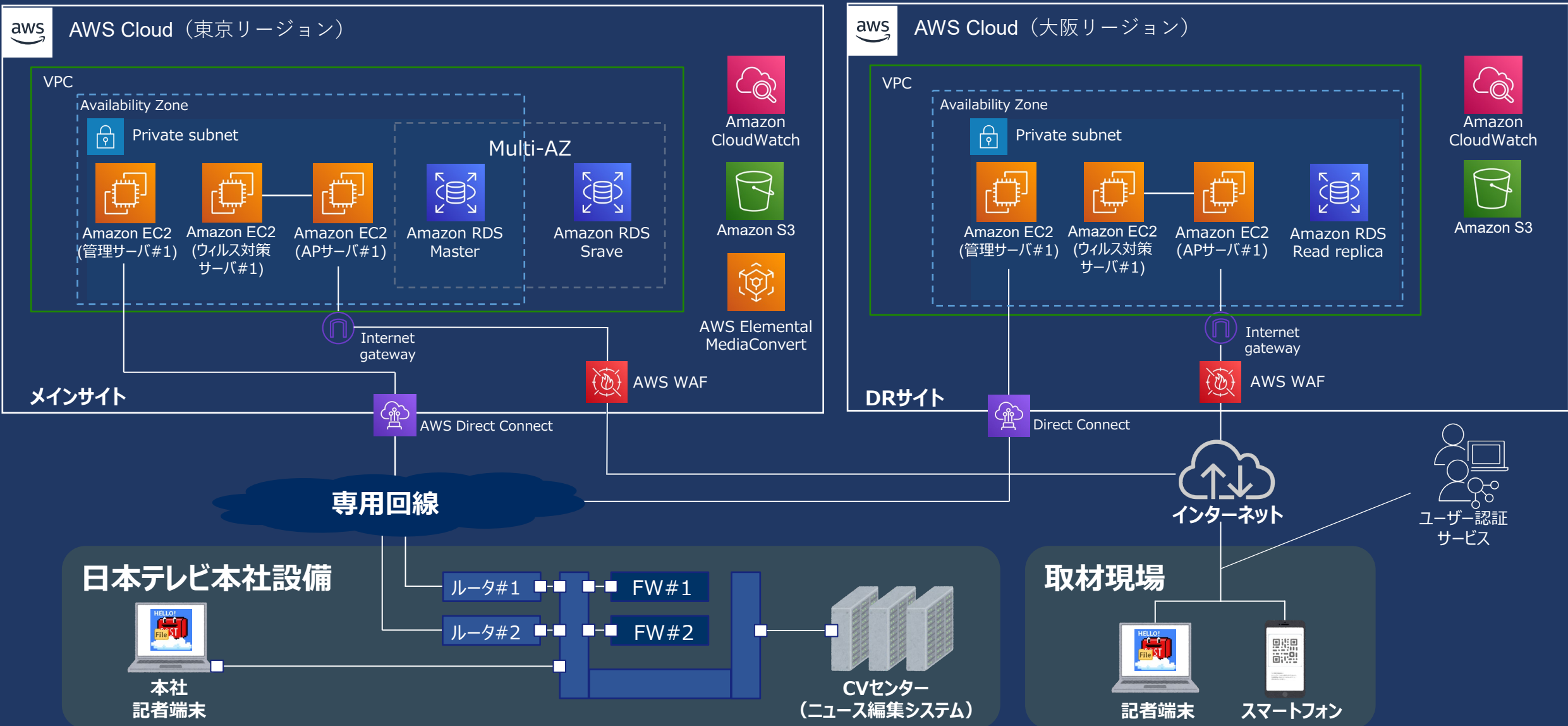
- ① EVSで中継カメラ素材を収録
- ② XFile3がXDCAMファイル、IP DirectorがMP4ファイルに自動で変換し、素材化
- ③ クラブ監視アプリが各ファイルを自動でアップロード
- ④ アップロードされた各ファイルを一覧表示→ニュース編集システムへ転送指示
- ⑤ スポーツニュースの編集作業開始
- ⑥ 配信番組へ向けたコンテンツ提供

②～④は
自動処理

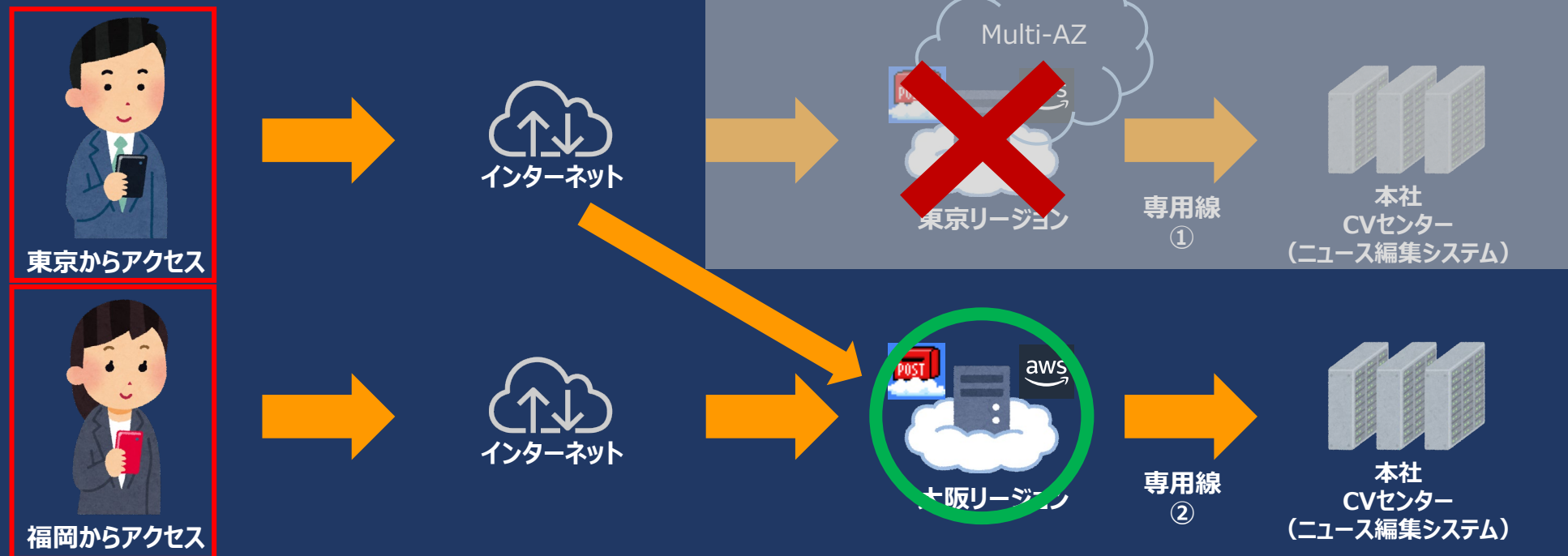


現場スタッフを増やさずに業務効率化を実現

AWS→オンプレミス 構成図



システムの冗長構成



 **マルチリージョンの採用で、障害時においてもニュース制作への影響なく継続運用が可能**

 **Amazon Route53によりユーザーがアクセスする場所によって接続するリージョンを自動判定**

AWSを採用したメリット

★ 構築ベンダー選定前から弊社担当SAに相談

PoC→RFP作成段階でAWSに相談、ベストプラクティスとなるHW構成のアドバイスをいただいた。

★ AWS内の多様なIaaSやSaaSを活用

データベースはSaaS、特定用途（アプリケーション）にはEC2をはじめとしたIaaSで構築。

→ 各種組み合わせにより、費用対効果を高められる。

→（例えば・・・）大量のトランスコード処理も意識せずスケールアウトされる。

★ 将来の運用規模拡大が容易に可能

運用ニーズに応じたインスタンスタイプの変更やスケールアウト、物理リージョンの増加も検討。

まとめ

- ★ **1,700人が利用可能なニュース系DXツール！**
報道・情報・スポーツの担当者であれば**誰でも手軽に使える飛び道具**。
旧システムと比較して運用実績が2.4倍（25,000件→60,000件）以上増加。
取材素材も提供素材も、「**とりあえずクラウドで本社に送る**」ことが当たり前。
- ★ **クラウドからオンプレミスに対してシームレスな連携を実現**
数年後にニュース編集システム全面更新を予定。既存システム側の改修は最小限に留めた。
- ★ **他システムとの連携も視野に**
ファイル素材をアーカイブシステムへ転送するワークフローを検討中。



ご清聴ありがとうございました